

安中市の財政見通し（令和5年度～令和7年度）

コロナ禍や物価高騰、少子高齢化に伴う社会保障関係経費の増加など、地方を取り巻く厳しい財政状況下において、持続可能な財政運営を実現するには、今後の財政状況を把握した上で各種施策を展開することが望まれます。このため、令和5年度から令和7年度までの3か年の財政見通しを作成しました。財政見通しは普通会計の決算ベースで、作成に当たっての前提条件は次のとおりです。

◆歳入

○地方税

人口減少に伴う納税義務者数の減少のほか、コロナ禍や物価高騰、制度改正の影響等を加味しました。

○地方譲与税、各種交付金

実績を基本として、県資料を参考としつつ、コロナ禍や物価高騰、制度改正の影響等を加味して推計しています。

○地方交付税、分担金・負担金、使用料・手数料

同額推移として推計しています。

○国庫支出金・県支出金

総合計画等を考慮し推計しています。

○財産収入、寄附金・繰越金

財産収入及び寄附金は同額推移として推計しています。

繰越金は前年度の歳計剰余金の状況から推計しています。

○繰入金

収支額が一定範囲の額に収まるよう財政調整基金等からの繰入を見込んでいます。

また、庁舎建設に係る繰入金の影響を大きく受けています。

○諸収入

同額推移として推計しています。

○地方債

投資的経費に係る地方債発行額及び臨時財政対策債を見込んで推計しています。

◆歳出

○人件費

定員適正化計画や定年退職者の見込数により推計しています。

○扶助費

実績を踏まえ、高齢化等により増加傾向が続くものとして推計しています。

○公債費

地方債に係る償還予定額に加え、地方債発行額の推計に連動した償還予定額を見込んで推計しています。

○物件費

同額推移として推計しています。

○維持補修費

施設の老朽化に伴い、増加傾向の推計としています。

○補助費等

実績により全体的に減少傾向が続くものとして推計しています。

○繰出金

実績を踏まえ、高齢化等により増加傾向が続くものとして推計しています。

○積立金、投資・出資・貸付金

同額推移として推計しています。

○投資的経費

総合計画に基づく事業費を見込んでいます。

今後の財政見通し

歳入

(単位：百万円)

区 分	R4	R5	R6	R7
市税	10,781	10,704	10,613	10,550
地方譲与税	352	353	358	358
各種交付金	1,929	1,935	1,890	1,846
地方交付税	3,560	3,195	3,195	3,195
分担金・負担金	42	42	42	42
使用料・手数料	379	379	379	379
国庫支出金・県支出金	5,944	5,567	5,389	5,295
財産収入	50	50	50	50
寄附金・繰越金	159	437	448	427
繰入金	1,382	2,247	1,961	1,810
諸収入	422	422	422	422
地方債	1,052	788	2,130	2,263
歳入合計	26,052	26,119	26,877	26,637

歳出

(単位：百万円)

区 分	R4	R5	R6	R7
人件費	3,945	3,786	3,894	3,747
扶助費	6,670	6,676	6,681	6,686
公債費	2,751	2,530	2,217	2,065
物件費	3,253	3,253	3,253	3,253
維持補修費	296	297	298	298
補助費等	3,714	3,709	3,705	3,697
繰出金	1,736	1,763	1,790	1,818
積立金	786	786	786	786
投資・出資・貸付金	101	101	101	101
投資的経費	2,163	2,549	3,535	3,545
歳出合計	25,415	25,450	26,260	25,996